

08898.921
(26)

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

平1-171156

⑬ Int.Cl.

H 04 M 11/00
1/65
H 04 N 1/32

識別記号

303

庁内整理番号

8020-5K
H-7608-5K
Z-6940-5C

⑭ 公開 平成1年(1989)12月4日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 考案の名称 ファクシミリ装置

⑯ 実 願 昭63-60556

⑰ 出 願 昭63(1988)5月10日

⑱ 考案者 河西修一 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内
 ⑲ 出願人 株式会社リコー 東京都大田区中馬込1丁目3番6号
 ⑳ 代理人 弁理士有我軍一郎

⑪ 実用新案登録請求の範囲

一つの回線を電話機と共に用し、切換手段により電話機と併用して回線に接続されるファクシミリ装置において、所定の記録媒体を備え音声信号を記録する音声記録ユニットが着脱自在に装着可能でデータの交換が可能なインターフェースを有したユニット装着部を設け、回線からの音声を該ユニット装着部に装着された音声記録ユニットに記録する留守番電話機能を附加したことを特徴とするファクシミリ装置。

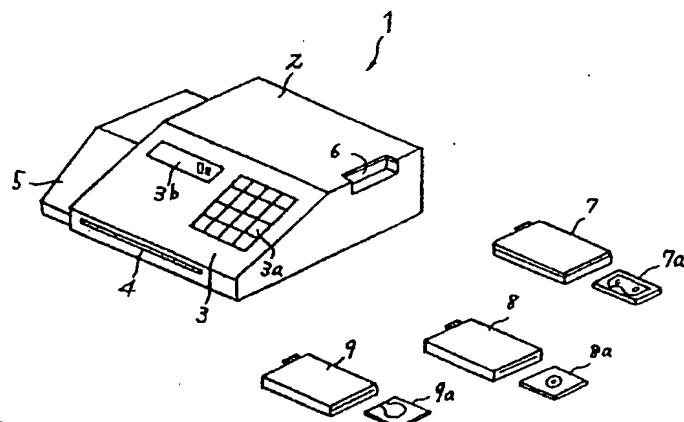
図面の簡単な説明

第1図～第5図は本考案のファクシミリ装置の一実施例を示す図であり、第1図はそのファクシミリ装置および記録ユニットの斜視図、第2図はそのファクシミリ装置のプロック図、第3図はそ

の回線切換部のプロック図、第4図はその磁気テーブユニット7にヘッドホンを取りつけた状態の斜視図、第5図はその受信処理のフローチャートである。第6図～第8図は本考案のファクシミリ装置の他の実施例を示す図であり、第6図はその記録ユニットとしてのハンディスクヤナユニットの斜視図、第7図はその記録ユニットとしてのバーコードリーダユニットの斜視図、第8図は第6図および第7図の各ユニットを適用した場合の回路プロック図である。

1……ファクシミリ装置、5……ハンドセット、6……ユニット装着部、7……磁気テーブユニット、8……フロッピーディスクユニット、9……ハードディスクユニット、31……ハンディスクヤナユニット、32……バーコードリーダ。

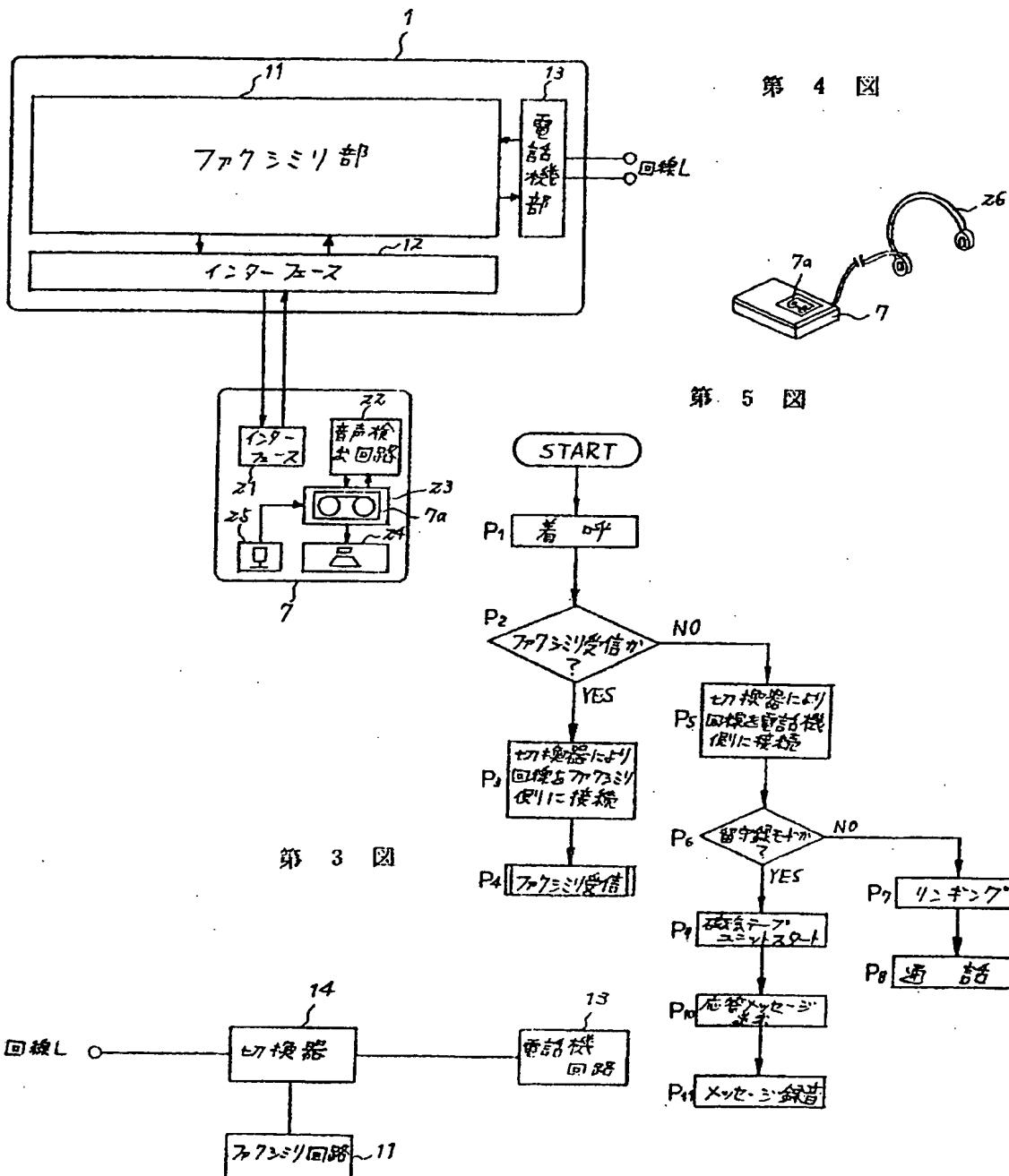
第1図



BEST AVAILABLE COPY

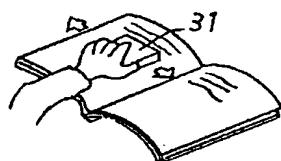
実開 平1-171156(2)

第 2 図

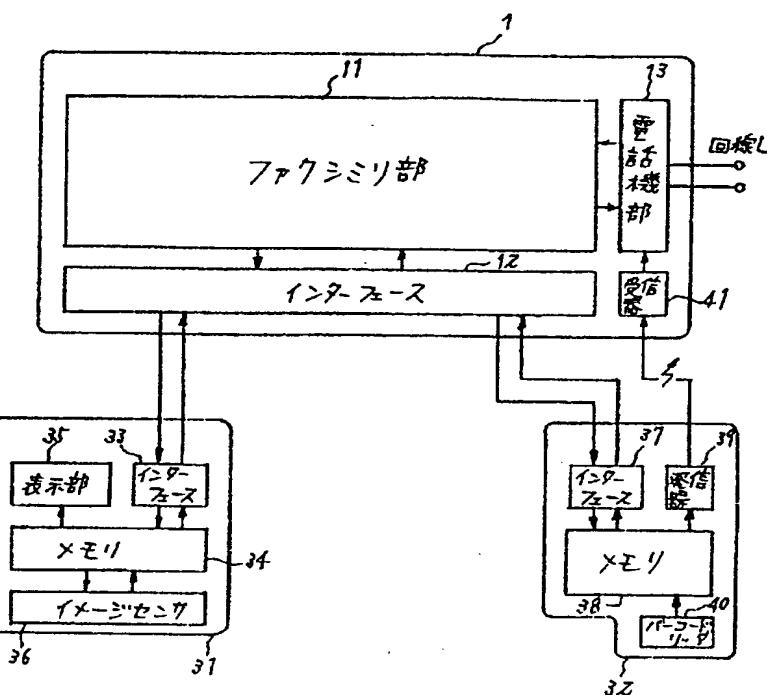
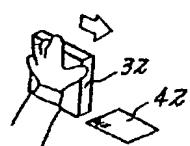


第 6 図

第 8 図



第 7 図



BEST AVAILABLE COPY